

第20回みやざきおもてなし向上委員会

第20回は、2010年6月16日(水)13:00~14:30、県庁9号館3階研修室で行われました。参加者は7名でした。口蹄疫のさなか、宮崎の観光の現状とこれからの展望について話し合いました。

◎口蹄疫の観光に対する打撃

☆向上委員会としての対策等を考えていくべき。

☆観光に対して、向上委員会ができることって何があるだろう・・・？

☆今の現状(6月中旬)

【風評被害】

- ・空港で、頭から消毒液をかけられるという噂
- ・宮崎県民が他県に行くと、いろんな目に合うらしい。(「早く出て行って下さい」と言われたり、石を投げられたり…)
- ・鹿児島では「宮崎ナンバーお断り」という看板も。
- ・他県の方々の感情も、理解すべき。

【ホテル・旅館関係】

- ・シェラトンは、2000人収容のホテルに宿泊70名という現状。
- ・ホテル関係は、キャンセルが相次ぎ、予約はない状態。

【観光関係】

- ・観光客・団体客の減少
- ・『がんばろう宮崎』のロゴ、ステッカーを作っている。
- ・夏休み、高文祭対策
- ・安心してきて下さいと言える状態ではなく、慎重にならざるを得ない。
- ・都城発生後は、夏休みまでの終息が難しい。
- ・終息したらキャンペーンを張ろうと思っていたが、都城に出たのでまた伸びてしまった。
- ・例年なら、夏休み・お盆は宿泊施設はいっぱいなのに、今は売れない。

【商工関係】

- ・全業種に2次被害が出ていて、5割~6割の売り上げ減。
- ・今まではためてきたものでしのげるが、7月から12月にかけて徐々に悪くなっていくのではないかとということが予想される。金融対策も急がねばならない。
- ・イベントはほとんど中止。
- ・“がんばろう宮崎プロジェクト”は、まだ個々の動きをしているが、一本化される予定。
- ・毎週金曜日、口蹄疫被害にあった方々を中心に法律相談を実施している。
- ・みやざき納涼花火大会は9月18日に延期。(注:この後、9月20日で決定したようです。)
- ・祭(ひよっこ祭等)やコンサート(ジャムナイト等)は中止。
- ・次の手を!と民間は言うが、県としては「まだ早い」その調整が難しい。
- ・川南・高鍋の人からは、今イベントを立てると混乱してしまうというクレームもある。

【これからの見通し】

- ・まずは、口蹄疫の終息に力を注ぐべき。
- ・先を見て、今やれることをやるしかない。
- ・終息を待っているだけではいけない。
- ・緊急対策として、早めの支援が肝心
- ・今年度予算を前倒しで、旅行会社に支援してキャンペーンなどをする必要がある。(補足:8月10日から、『宮崎へ行こう!!キャンペーン』が始まっています)
- ・9月いっぱい“がんばろう宮崎”キャンペーン、10月からは“ありがとう宮崎”キャンペーンをしようと話している。

みんなが求める会でありたい
楽はせず、楽しむ、そして進んでいく会

◎終息後の具体策は？

- ・街市、朝市など、地産地消に関するのを、できるだけ盛大にやっていきたい。
- ・キャッチコピーやロゴを統一したい。

◎この委員会としてできること

- ・今後も、口蹄疫だけではなく鳥インフルエンザなどいろんな災害が起こらないとも限らないので、マニュアル化などをしていくべきではないか。
 - ・“飲食業・観光業の人たちを応援します”というスタンスに立つとよいと思う。
 - ・表に立ってアピールしていきたい(HPを作るなどの仕組み作り、災害があった時の応援ができる仕組み作り)
 - ・始めは、みやchanブログなど無料のツールを使ってやる。
 - ・業界のつなぎになるような団体が理想。
 - ・誰でも会社訪問できるように、この委員会の活動報告を作ってアピール活動をするべき。
 - ・持ち回りで例会ができるようにして、それぞれの得意分野をシェアしあえるようにする。(ホテル館内の案内などといったことができるかもしれない)
 - ・おもてなしのクオリティを上げる講習などを交代でするのもいいのでは。
 - ・異業種の顔を広げられる場所にしたい。
 - ・女性を増やす、農家さんを入れるなどすると、視野が広がる。
- ☆設立趣意書、入会のご案内を作成する。
☆主な構成メンバー・会則・顔写真入りの感想や案内をつくる。
☆協賛(応援)メンバーの言葉をもらう
★おもてなし向上委員会の基本理念を作る。
★キャッチコピーやスローガンを作成する。
↑★は宿題です♪♪

第21回の会合は、

8月18日(水)13:00~14:30です。

場所は、いつもの会場、県庁9号館3階研修室で行われます。

よろしく願いいたします。

みやざきおもてなし向上委員会

専用メールアドレス

omotenashi@smile-c.com